

平成 28 年度学校評価アンケート（1 回目）の結果について

○分析

- ① 1 回目の実施時期は、生徒と教職員は 7 月上旬、保護者は 7 月下旬の面談期間中。回答率は生徒と教職員はほぼ 100%で、保護者は 77%の回答率であった。12 月に実施予定の 2 回目のアンケートに向けて、保護者の回答率をもう少し上げたいと考えている。
- ② 1 と 2 の段階を合わせた割合が、生徒、保護者及び教職員の結果を見ると、ほとんどの項目で 80%を超えており、全体的には良好な結果となった。特に、生徒の結果を見ると学校生活におおむね満足している様子が見える。
- ③ 評価が低かった項目は、3 者とも 4 の家庭学習、6 の配布物、15 の進路の手引きであった。特に、家庭学習 2 時間以上が、生徒・保護者では昨年より減少、逆に教職員は 10 ポイントほど増加となった。毎年低い状況が続いており、至急手だてが必要である。

○改善

- ① 家庭学習については、本校で行っている家庭学習記録簿「研鑽」や今年度から 1 年生で行っている C l a s s i を活用し、生徒の実態を把握するとともに、学年、教科で改善策を検討する。
- ② 配布物については、昨年度から発行日を原則各月の初日としているので、保護者へ更なる情報発信をしていきたい。
- ③ 生徒の進路目標の達成のためにも、進路の手引きの活用は重要である。総合の時間や L H R の時間を利用して更なる活用をしていきたい。
- ④ 自由記述欄に書かれていることについては参考になることがたくさんあり、改善策を講じてよりよい学校づくりに努めたい。